

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（ 平山小 ）学校運営協議会長

清水 克彦

必須

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 各委員が様々な視点から学校運営の方針について意見を述べ、充実した熟議をする事ができた。
- 学校長から学校運営の基本方針について丁寧な説明があり、理解を深めることができ、地域と連携した取り組みにつながったと思う。
- 学校長の説明により、学校運営・学校課題等を共有する事ができた。地域等でも学校支援について理解しているので支援活動等は活発に行われていると思う。
- 校長先生から学校運営について丁寧な説明があり、十分理解する事ができた。
- 学校からの丁寧な説明により、複式学級が増える事や先生が減る事など課題を知り熟議する事ができた。
- 委員からも基本方針に基づく多くの意見が出されて、保護者や地域の学校支援活動が円滑に進められていると感じた。
- 委員からの意見も多くあり、有意義な会であったと思います。
- 今年度初めて協議委員になったのですが、第1回の運営委員会で基本方針の説明があり、目指す姿と取り組みの考え方が理解できた。
- 今後の問題点として、複式学級による教員数減により、何が困るのが認識でき、それに対する質問や意見をだす事ができた。

必須

＜評価項目2＞ 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- コロナ禍でも、様々な事を考えて行事を行ってくれて感謝している。子供を安心して通わせられる学校だと思う。
- 学校運営の資する活動内容等と基本方針との関係が理解できた。
- 学校運営に資する活動について意見を述べ合い、熟議を進める事ができた。
- withコロナでの活動について熟議する事ができた。
- 学校運営に資する活動について、活動毎にグループを作って話し合いが行われるなど、熟議を進める事ができた。
- 応援団の人達が、毎年活動してくれている事を知った。
- 応援団の活動やボランティアの活動をグループ討議する事で、細やかな部分まで話し合う事ができた。
- 学校ボランティアグループの活動について、熟議を進める事ができた。
- コロナ禍での活動において、学校行事等が様々な制約を受ける中、地域や保護者として協力・支援できる事について熟議する事ができた。
- 「才の神」グループの討議の中で、才の神まんじゅうを作ったり、食べたりするだけではなく、地元の偉人である清水善慶氏が、どのような想いで事業を始め、それを成功させる為にどのような工夫をしたのかも、児童に伝えられれば、将来の役に立ててもらえるのではかという提案ができた。
- 小規模校なので、地域支援・応援団等とそれぞれが協力し学校運営・教育目標を共有でき、学校側の必要とする支援等について活発に話し合う事ができたと思う。

必須

<評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- コロナ感染対策と学校活動のバランスが難しい中、ホームページなどの情報発信をしていく必要があるのではないか。
- 学校教育への理解が深まった。さらに学校の教育活動が充実するよう熟議をしていきたい。
- 複式学級が増え、先生が減る事で子供達に影響が出ない様に地域の人達に協力してもらい、先生方の負担も増えない様な方法を熟議できればと思う。
- クラブ活動などに、地域の方々がコロナ前のように参加できるような取り組みができるようにしていければと思う。
- 学校運営協議会として、学校教育への協力・支援の具体的な方策を熟議していきたい。
- コロナ禍における学習活動も、徐々に変化していくと思われるので、withコロナに向けた学習活動のあり方を探っていく必要があると思われる。
- 保護者や地域の支援体制も、withコロナへの移行を踏まえ、見直していく必要が生じるとと思われる。
- 「才の神宿場遺構と清水善慶の功績を学ぶ会」に参加しました。善慶氏が、通行困難な街道を私費で道路を作り、通行人を留める宿屋を作り、そこに芝居や土人形、まんじゅうの商売も興して地区の経済を廻していた行動力は、たいへん勉強になった。「ひなぶ」にはミカンの恩人もいるので、今後も地元の偉人について学ぶ機会を続けていきたいと思った。
- 子供も先生もあいさつができるようにしたい。
- 3年間のコロナ禍は、子供達にとってとても重要な大切な時期であったと考える。感染拡大が収束し、マスクが取れた時のため、地域による学校支援をより充実していくため、熟議をしていきたい。
- コロナ禍の為、行事等にも制約があり思うように活動できなかったもので、今年度は学校課題を共有理解し、支援等もそれぞれの立場で共有・協力し充実できるように熟議していきたい。